

# 戦略タスクフォースリーダー養成プログラム 第2期(2016年5月～9月)説明会のご案内

東京大学政策ビジョン研究センター、日本生産性本部経営アカデミー共催

## ☆説明会のご案内

- 第1回説明会 2015年11月30日(月)16:00～17:30  
第2回説明会 2016年1月18日(月)16:00～17:30  
第3回説明会 2016年2月15日(月)16:00～17:30

### 説明会会場

公益財団法人 日本生産性本部 経営アカデミー  
東京都千代田区丸の内1-6-2新丸の内センタービル6階  
電話:03-5221-8455  
\* 東京駅丸の内北口隣接  
\* 地下鉄東西線他「大手町駅」より至近

☆説明会へのお申し込みは、下記東京大学政策ビジョン研究センターホームページより説明会参加お申し込みフォーマットにご記入の上、お申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。



責任指導: 東京大学政策ビジョン研究センター副センター長 教授 **渡部 俊也**  
東京大学政策ビジョン研究センター「大学と社会」部門、「知的財産権とイノベーション研究ユニット代表」を本務とし、先端科学技術研究センター教授を兼務とする。東京大学産学連携本部本部長。その他、内閣官房知的財産戦略検証評価企画委員会座長(産業財産権担当)、日本知財学会理事・会長、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員等を兼ねる。

### ◇ 第2期「戦略タスクフォースリーダー養成プログラム」実施概要 ◇

期間

2016年5月14日(土)～9月16日(金) (前期日程、以降フォローアップ期間あり)  
金曜夜8回・土曜終日5回及び、合宿1回(9月3日(土)～4日(日)、於:湘南国際村)

会場

土曜日程 全5回: 東京大学本郷キャンパス  
金曜夜日程 全8回: 経営アカデミー(東京駅丸の内北口隣接OAZO内)

☆お問い合わせ、お申し込み方法

東京大学政策ビジョン研究センター 戦略タスクフォースリーダー養成プログラム事務局  
[office@wlab.rcast.u-tokyo.ac.jp](mailto:office@wlab.rcast.u-tokyo.ac.jp)

下記にアクセスし、説明会お申し込みフォーマットにご記入の上、お申し込みください。

[http://pari.u-tokyo.ac.jp/unit/iam\\_stfl/index.php](http://pari.u-tokyo.ac.jp/unit/iam_stfl/index.php)

**主催 東京大学 政策ビジョン研究センター**  
**共催 公益財団法人 日本生産性本部 経営アカデミー**

# 戦略タスクフォースリーダー養成プログラム

東京大学政策ビジョン研究センター、日本生産性本部経営アカデミー共催

- 目的 新事業開発やビジネスモデル変革などの経営戦略を担う組織横断型戦略タスクフォースの実践リーダーの養成
- 対象 戦略企画部門、事業部門、知財部門等で組織横断型の課題を担う方、新規事業開発、技術開発リーダー 等
- 特徴 ①「オープン&クローズ戦略」「デザインドリブンイノベーション」「ものとサービスの融合戦略」「リバースイノベーション戦略」や「事業戦略を支える知財・標準化マネジメント」など最新経営戦略の策定のための知識とスキルが学べる  
② 全社横断型タスクフォースの組織化や効果的運営方法が学べる  
③ 異業種から参加した受講生とのグループ討論などを通じて戦略策定のアイデアを共有できる

## ■ 2015年度(第1期)の実績

(日程) 丸の内経営アカデミー平日クラス8回(2時間)、東大本郷キャンパス土曜クラス(終日)3日、合宿研修(湘南国際村)2日の前期日程(5月~9月)と、フォローアップ期間(10月から1年間フォローアップイベントなど)からなる

(実施内容) 上司と伴奏して参加、同一企業から複数社員の参加、クライアントと合同での参加、企業で実際行うプログラムにおける効果測定、研修生同士の学びの効果測定など

【第1期参加企業】 味の素(株)、(株)リコー、三菱電機(株)、日清紡ホールディングス(株)、日本ユニシス(株)、パナソニック(株)、(株)日立製作所、三井化学(株)、古河電気工業(株)、横河電機(株)、サッポロビール(株)、オリンパス(株)、JSR(株)、帝人(株)、日本電気(株)、オムロン(株)、旭硝子(株)、コニカミノルタ(株)、(株)三菱化学科学技術研究センター、NEDO、CPJAPAN総合特許事務所、多摩川精機(株)より計27名が参加されました。



経営戦略、イノベーション戦略やビジネスエコシステム戦略、知財戦略などを担当する講師陣

グループワーク、ロールプレー、課題共有セッションなど多様なプログラム



受講者の全員がプログラムに満足(またはやや満足)  
受講者の9割がタスクフォース課題の取り組みに向上効果があった